有田町立有田中部小学校 学校だより No.6



# **非与非与参中部**多子

### ≪学校教育目標≫

自ら気付き 人との関わりの中で自分らしさを発揮しながら課題解決に向かう 子どもの育成

令和6年8月28日 文責 校長 小柳 英樹

## ~有田中部小学校の合言葉~

やさしく(徳) かしこく(知) たくましく(体)

2 学期の始まり、始まり。

長い長い夏休みが終わりました。39 日間の休みでした。真っ黒く日焼けした子も見られます。身長が伸びた子もいます。学校ではできない学びを町外または県外で学んだ子もいます。九州を出た子どもも多数います。

あちこちで素晴らしい学び、体験ができたようです。百聞は一見にしかずです。座学も大切ですが、身体に染みついた学びは生涯剥落しないでしょう。私も幼少の頃は野山を駆けまわり、ケガをしたこともありました。でも、その体験が今に生きています。歩くことで発見する喜び、外に出て活動することで出会う楽しさ、チャレンジすることで味わう悔しい思い等々。何事も学びです。何事も貯金です。決して無駄なことはありません。夏休みに十分体験できなかった人は、これから週末に、または冬休み、来年の夏休みに期待します。

さて 2 学期の始まりに関し、何事もスタートが肝心です。"終わり良ければ全てよし。始め良ければさらによし"と聞いたことがあります。物事のスタートを大切にすること、丁寧にすること、規則正しくすることと私は勝手に思っています。





【8月3日(土):「町平和祈念式典」(焱博記念堂)】

この時期になると、全国各地で、平和祈念式典が開催されます。本来であれば、常日頃から平和 について考え、平和を希求していかなければならないのでしょうが、ついつい幸せであれば、平和の ありがたさ、命の尊さ、戦争の過ち、人間の愚かさを忘れてしまいます。

本校からも 6 年生 3 名が代表して参列しました。語り継ぐことの大切さを参列して考える機会になったことと思います。

私自身も、改めてこの機会に自分自身を見つめることができました。身近な人のおかげで、そして 戦火に散った方々の代償のもとに今の平和が築かれていること、私たちは二度と同じ過ちを繰り返 してはいけないこと等々考えました。

では、私たち学校でできることは何だろう?それは【日々を感謝して真摯に生きること】ではないで

しょうか。友達に対して、そして学びに対して、平和を考える機会は目の前に存在しています。

今年の夏の話題は、なんと言っても、"パリオリンピック・パリパラリンピック"ですかね。いやいや "酷暑・猛暑"、"大雨洪水被害、台風"も重大ニュース。たくさんのことが思い起こされます。

私は、スポーツ観戦が好きで、帰宅後、そして早朝にテレビにかじりついていました。まさにスポーツは筋書き通りに行きません。想像しないドラマがたくさん展開されたように思います。

金メダル確実視されていた選手のまさかの敗退。日本初メダルの多かったこと。

これはヤバいだろうと見ていてハラハラドキドキの場面で、起死回生の活躍。笑顔や涙。そしてコメントに感動しました。スポーツなので、勝つに越したことはありませんが、その人の生き様、人生訓を垣間見ました。全てのオリンピアンから聞かれたことば、それは"感謝"です。人は一人で生きていくことはできない。たくさんの人に支えられ、自分の人生を歩んでいることを感じる 17 日間でした。



【三浦さん(戸杓)からの 雑巾のプレゼント】





【弘済会からの本のプレゼント】

## <8月・9月の主な行事予定>

## 9月の生活目標 【名前札・帽子を身に付けよう】

#### [8月]

28日(水):2 学期始業式、午前中授業、給食なし

29日(木):台風 10号接近による臨時休業

30日(金):台風 10号接近による臨時休業

### [9月]

2日(月):教科書配布、記名週間(~6日)

3日(火):児童集会(5年生クラス紹介)

陶芸教室(4年3組、4年1組)

5日(木):フッ化物洗口、委員会活動、SC 来校(午前) 職場体験(有中2年生5名) 6日(金):木曜校時5時間授業(~I3日)

9日(月):学習道具チェック

10日(火):SSW 来校(午前)

17日(火):読み聞かせ

19日(木):フッ化物洗口、クラブ活動、SC 来校(午前)

20日(金):スキルタイム

24 日(火):児童集会(3 年生クラス紹介)、SSW 来校(午前)

26日(木):フッ化物洗口、委員会活動

27日(金):スキルタイム

30 日(月):授業参観(ふれあい道徳)、低学年レク 学校運営協議会、学級懇談会(1 年・6 年)



【窓ガラス破損(7月31日発見)】

残念なことに、窓ガラスが割れる事案がありました。割れたことはもちろんですが、何より悲しかったことは報告がなかったことです。もちろん、本校の子ども達ではない可能性もあります。見つからなかったらよい。誰にもばれなかったらよいといった思いや考えの人がいることが悲しいです。間違いや失敗は誰しもあります。

でも、そこからどのような振る舞い、生き方をするかが 大切だと考えます。その人が試されます。もし、その事案を 起こしてしまった、または知っている人がいたら、担任の先 生まで知らせて下さい。もちろん、お家の人や他の先生に でも結構です。あなたの勇気を待っています。